

## ステップアップ研修会 (障がい児支援者・音楽療法士向け)



# スウェーデンの音楽セラピー (ハンドセラピー)

スキンシップは人間関係において非常に重要な意味を持つとされています。親と子の間の関係性について、触れ合うことの大切さということが指摘されています。子どもの頃に周りから受けるスキンシップは、その子の情緒的な成長の過程において単なる抱っこや手をつなぐという行為とともに、子どもの「気持ちを受けとめる」という意味を持ち、より重要になってきます。子どもたちの好きな歌や音楽と組み合わせる様々な特性を持った子どもたちとのコミュニケーションツールの一つになるのではないのでしょうか。

スウェーデン在中のオターキ(スウェーデン呼称)が北欧の福祉事情や音楽活動を紹介。子ども(障がい児含む)に対するハンドセラピーのワークも交えての研修です。保護者、保育士、児童指導員、音楽療法士など、子どもの支援者向けです。(音楽経験が無くてもご興味のある方はどなたでも受講できます)



**2020年 2月 23日(日)**

**時間 : 午後2時30分~4時30分 (受付2時10分)**

**場所 : 吹田市青少年活動サポートプラザ「ゆいぴあ」  
夢つなかい未来館 6階 多目的ホール  
(阪急千里線 山田駅下車 すぐ)**

**講師 : 大瀧 昌之 先生 受講料 : 2,200円 (税込)**

プロフィール おおたき まさゆき

札幌市生れ。北海道立札幌西高等学校卒業後、劇団活動を経て、1969年に渡欧しスウェーデン在住。スウェーデン王立ストックホルム音楽大学で音楽療法を学び、長年にわたってスウェーデン福祉の現場に携わってきた。1988年に結成された知的障がい者のロック・グループ「EKO」のリーダー、1991年にグループのディセセンター「EKO」を設立。所長を務める。1995年「クラブEKO」設立。2001年、一時帰国し、北九州市立大学客員教授として1年間赴任。2009年日本とスウェーデンの福祉や音楽療法、またハプティックセラピーなどの分野で、日本とスウェーデンの架け橋の役目を担って「スウェーデン福祉研究所」、2010年「日本ハプティックセラピー協会」、2013年「スウェーデンハンドセラピー協会」を設立。2015年スウェーデンに帰国。2017年「北欧福祉研究所」顧問に就任、現在に至る

著書 『EKO・こだまするもの』(かど創房、1992)、  
『スウェーデンの社会福祉と音楽療法 -音楽療法士・福祉職としての体験から』(音楽之友社、2003)

申込方法 : 2月15日までに下記に電話・FAX・メールでお申し込み下さい。  
氏名、住所、電話番号をお知らせください。

**主催** NPO法人 吹田市音楽療法推進会 **おんがく・さ~くる・コスモス**  
〒564-0041 吹田市泉町2丁目33-24-101 TEL 06-6380-3844 FAX 06-6380-3853  
メールアドレス [music-cosmos@nifty.com](mailto:music-cosmos@nifty.com) ホームページ <http://www.mccosmos.com>

後援 吹田市